

# テンサイシストセンチュウの確認について

## 1. 発生状況調査の結果

- 本年5～6月、豊橋市内で無作為に抽出した土壌採取や、通報に基づく生育不良株の抜き取りにより発生状況の調査を行ったところ、**複数の生産者のほ場でテンサイシストセンチュウ（Hs）が発生していることが確認されました。**
- 今回は、抽出調査であったことから、詳細な発生の広がり是不明ですが、既に**広範囲に発生している可能性が否定できない状況です。**
- 発生の広がりを特定するため、東三河地域において、次期作の栽培期間中に**生育不良株の抜き取り調査**を実施する方針です。

## 2. Hsの影響

- Hsは、**土とともに他のほ場にまん延するため、土の移動に注意することが重要です。**
- 侵入当初であれば、直ちに大きな被害が生じることはありません。
- **次期作のキャベツ、ブロッコリー等の寄主植物の作付けを制限することはしませんが、Hsが潜在しているほ場では、寄主植物の連作によりHsが増殖し、被害が大きくなります。**
- **土壌消毒**や非寄主植物の栽培を取り入れた**輪作**により、Hsの密度低減が可能です。

## 3. 当面の対策

- ① まん延防止対策
  - 使用した農機具等を**移動する前に必ず泥を落とす**てください。また、洗浄する場合は、洗浄水が他のほ場へ流入しないよう注意してください。
  - 栽培残さ及び収穫残さにはHsが付着しているため、**ほ場外へ搬出しない**でください。
- ② 防除体系の確立
  - 本線虫による被害を抑制するための**防除体系の確立**に向けた取組を実施する予定です。
- ③ 発生範囲の把握
  - Hsの発生範囲の把握のため、次期作において、キャベツ、ブロッコリー等を生産されている方は、生育不良に注視し、**生育不良があった場合は、裏面の連絡先へ確実に連絡**いただくようお願いします。

## (参考) Hsについて

- ヨーロッパ、アメリカ等で発生している線虫で、キャベツ、ブロッコリー等のあぶらな属植物等\*の地下部に寄生します。  
\*てんさいなどのふだんそう属、だいこん、ほうれんそう、トマト等
- 寄生された場合、養水分の吸収が阻害され、生育不良、地上部のしおれ等が見られ、減収を引き起こします。
- 農機具等に付着したHsを含む土壌の移動等により分散します。



キャベツの根に付着しているHs  
※顕微鏡による拡大写真です



Hsによるつぼ枯れ状の被害が  
確認された国内のキャベツ畑

## (参考) Hsに係る作物と被害等の関係

|       | 出荷部位 | 作物                                                                | 被害等                                                                                                                   |
|-------|------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 寄主植物  | 地下部  | ダイコン                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培するとHsが増殖し、連作により被害が大きくなります。</li> <li>Hsが寄生している地下部や付着する土壌は伝染源となります。</li> </ul> |
|       | 地上部  | キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ホウレンソウ、トマト、ルバーブ*                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培するとHsが増殖し、連作により被害が大きくなります。</li> <li>* 株分けしてほ場外に持ち出す場合は伝染源となります。</li> </ul>   |
| 非寄主植物 | 地下部  | タマネギ、サツマイモ                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培してもHsが増えず、時間の経過とともに自然減少が見込まれます。</li> <li>作物に付着する土壌は伝染源となります。</li> </ul>      |
|       | 地上部  | レタス、アスター、キク、ナス、ピーマン、セルリー、パセリ、キュウリ、スイカ、ズッキーニ、メロン、ニンニク、ネギ、エンドウ、ソラマメ | <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培してもHsが増えず、時間の経過とともに自然減少が見込まれます。</li> </ul>                                   |
| セル苗   | —    | 全ての植物                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場の土を使用した場合は伝染源となります。</li> </ul>                                               |

### 【連絡先】

- ・愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及課（0531-22-0381）
- ・愛知県農業総合試験場普及戦略部（0561-41-8965、0561-41-8966）
- ・愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室（0561-41-9513）
- ・農林水産省名古屋植物防疫所（052-659-1357）